



国際交流推進委員会



## 「国際交流推進委員会」

### 1. 構成員

#### 1) 委員

山本則子（委員長、東京大学）、  
グレッグ美鈴（神戸市看護大学）  
池田真理（東京女子医科大学）  
田中真琴（東京医科歯科大学）  
原田奈穂子（東北大学）  
御子柴直子（東京大学）

#### 2) 協力者

川上明希（東京大学）  
鈴木美穂（がん研究会有明病院）

### 2. 趣旨

本委員会の趣旨は、関連する国際組織と連携を取りながら、国内の看護高等教育の国際化を推進することである。具体的な活動目標は以下である。

- 1) 看護高等教育における国際活動・国際交流を積極的に推進する。
- 2) 第20回 The East Asia Forum of Nursing Scholar (EAFONS)の Executive Committee に参加する。
- 3) 第20回 EAFONS との連携と日本からの参加者への広報と発表支援を行う。

### 3. 活動経過

#### 1) EAFONS への参加

- EAFONS 参加者はVIP（40 - 50名）を除いて、704名が出席した。そのうち、400名が日本からの参加であった。
- Plenary discussion（テーマ：The development of a doctoral nursing program: Hurdles and attainments）において委員長の山本則子が日本の看護高等教育の現状について発表した。また、Modelatorとして委員の池田真理、東京医科歯科大学の深堀浩樹が参加した。
- 発表演題での優秀賞を受賞した日本人は、12枠中2名のみ（ポスター発表）であり、発表者の大多数が日本人であったことと対照的であった。

#### 2) EAFONS Executive Committee Meeting への参加

- 定款の内容について話し合い、検討を継続することになった。
- EAFONS Executive Committee メンバーの任期について話し合った。任期は各国の事情に任せるが、Executive Committee Meeting で一貫した議論ができるように同じ国のメンバーが一度に交代することはなるべく避けてほしいという意見が出た。

#### 3) 研修会の実施

2017年3月25日15 - 17時、聖路加国際大学日野原ホールで、JANPU 国際交流推進委員会企画 研修会「看護系大学における国際コミュニケーション力の向上を目指して～先進的な取り組み例から学

ぶ～」を開催した。本研修の目的は、看護系大学のグローバル化促進に向けての留学制度への理解を深めることである。プログラムは、下記の4部構成である：①看護系大学における国際化への課題について(演者：国際交流委員 田中真琴)、②留学生の受け入れ(演者：千葉大学 岩崎弥生先生)、③教員の留学(演者：神戸大学 本田順子先生)、④学部生の短期交換留学(東京女子医科大学 田中美恵子先生)。約180名の参加があり、質疑応答も活発で時間内に終わらないほどだった。プログラム後は研修会の感想と今後の研修会開催内容のニーズを把握する目的でA4両面1枚の無記名自記式アンケート調査を実施した。

#### 4. 今後の課題

国内の看護高等教育における国際化の推進を支援する方策として、以下の課題があげられる。

- 今年度実施した研修会の内容をまとめ、マニュアル等にして普及する。
- EAFONSは参加者が多い一方で受賞者が少ないため、学会参加者への支援策を検討する。
- EAFONS Executive Committee メンバーの任期について検討する。

#### 5. 資料

特になし